

成人向け
FOR ADULT

魔胎奇伝マムVII

母性・懷疑・父子対峙





大魔王バーンとの死闘から数年…



ポップ・メルルと旅をしていたマアムの元に、
皇女レオナが行方不明になったとの報が入る。

探索に向かうマアム・メルル・マリン
しかし、その前に立ちはだかったのは
何と、淫魔ブラックモアに取り憑かれ、
正気を失ったポップだった。



ブラックモアは、ポップの強大な魔力を糧に触手を自在に操り彼女達を捕らえ蹂躪する。



陰惨なレイプ劇の前にポップの自我は墮ち
その身体は完全にブラックモアに乗っ取られ
穴の奥へと消えていった…。

(魔胎奇伝マアム)

そのころ、レオナは女淫魔の洗脳を受けていた。ヤンディスと呼ばれるその淫魔は人間界の王女であるレオナの身体を操り日の当たる世界を手中に収めるという野望を語る…。

100



ブラックモアに取り憑かれたポップ・行方不明のレオナ
二人を救出する為マームはメルル・エイミと共に魔穴に潜入する。



だが、ポップの姿をした淫魔ブラックモアに動搖を隠せないメルルは、淫魔の蔭に囚われてしまう。

そこでメルルに告げられる非情な現実。
それは、先の陵辱で下等淫魔の子種をその子宮に宿されている事。
そして、もはや愛する人の子供を作れないという事…

叶わぬ恋に絶望したメルルの心は快樂に堕ち、
繭の奥深く消えていく…

必死に彼女の名を叫ぶマアムにもブラックモアの魔手が伸びる。
拘束された身体を嬲られ、何度も何度も絶頂を繰り返され…
そしてついに、
マアムの體内に「上級淫魔の精子」が注ぎ込まれてしまった…！

(魔胎奇伝マアムII)

一晩で異様な成長を見せる胎児。マアムの腹は膨らみ、
誰が見ても、まともに戦える状態ではない。
絶望的な状況のなか、再び魔穴の中へと歩を進めようとする
マアムの前に、ヒュンケル・クロコダイン・チウの三人が現れる。

魔力を持たぬ三人なら、ブラックモアに操られることはない。
希望の光を見出したマアムとエイミは、三人をパーティに加え
魔穴に挑む。だが、女淫魔ヤンディスの策略にはまり
マアムとクロコダイン・チウは魔穴の最奥へと落とされる。

メルルとエイミの身体を操り、ヒュンケルを誘惑するヤンディス。

腹の子に操られ、クロコダイン・チウを前に淫態を晒すマアム。

パーティは絶体絶命の危機を迎えていた…！

(魔胎奇伝マアムIII)





精液を受けるたびに成長していく腹の魔児のため
クロコダインとチウの必死の叫びもむなしく、淫らな行為
にふけるマアム。

一方、ヒュンケルも女淫魔に操られるエイミ・メルルに
組み敷かれていた。エイミのヒュンケルに対する感情を
快楽に変えて、貪欲にそれをむさぼるヤンディス。

絶頂とともにエイミの心が堕ちようとしたその瞬間、
淫魔ブラックモアが現れ、何者かがレオナをさらったと
ヤンディスに伝える。急ぎレオナを追うヤンディス。

ヒュンケルとエイミも、傷つけられた想いを抑え、
マアム達の元に向かう。

しかし、そこで彼らが見たものは、クロコダインとチウの
精をむさぼり、くり返す絶頂に悶えながら魔児を産み落とす
彼女の姿だった…！

魔穴の外れ、ようやくレオナを見つけだしたヤンディス。
レオナを抱きかかる男の姿…。
それはかつて彼女が愛した勇者・ダイだった…。

(魔胎奇伝マアムIV)

マアムの産み落とした魔児に誘われ、
魔穴の奥へと飛ばされたマアム達は、
ダイの姿を見る。だがそれは、異世界にいるダイが
レオナを助けたい一心で放った思念体だった。

ダイを陥落させようとレオナに取り付き誘惑する女淫魔。
だが、ダイとの行為に感情を揺さぶられたレオナは覚醒し
女淫魔の力を押さえ込む！

レオナの子宮に女淫魔の本体がいることを感じ取った
マアムは、ダイの身体と融合し、レオナの膣にマホイミを
流し込む。女淫魔は蒸散し、レオナは解放された…

ダイの思念体はその役目を終え、再び永い眠りにつく。

「ダイ、貴方が帰ってくるその時までに、必ずポップを
救い出し、皆で迎えにいく…」

マアムは決意を新たにするのだった…

(魔胎奇伝マアムV.VI)



こんにちは、閔亭妹次郎のほうです。

お久しぶりの魔胎奇伝シリーズです！
前回から早や一年半振りということで、
もうそんなに経ってしまってたんですね…

イベント会場で「続きまだですか？」と
声をかけて下さった方が何人かいらっしゃって
こんなとんでもないお話をいつも読んで頂いて、
忘れずにいて頂いて…
ホントにありがとうございます。
待たせてしまってスミマセン(▽;)

さて、今回からは、新章突入です！
マアムの胎の、ひきこもりベイビーちゃんですが
ひきつづきキュートかつワイルドなお名前募集中
ですので、どうぞヨロシクお願ひいたします。

2013.07.25 閔亭 妹次郎

おくづけ

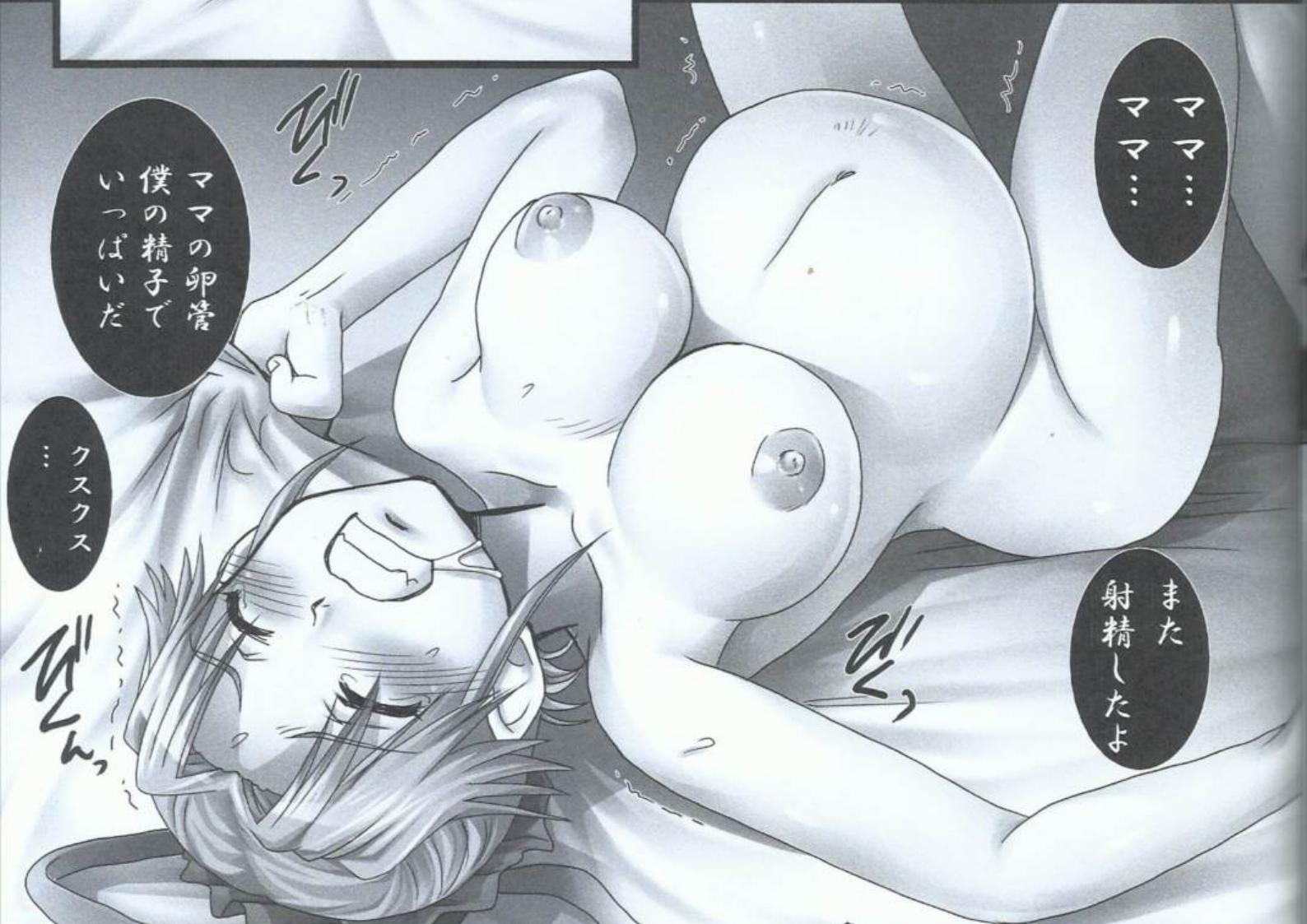
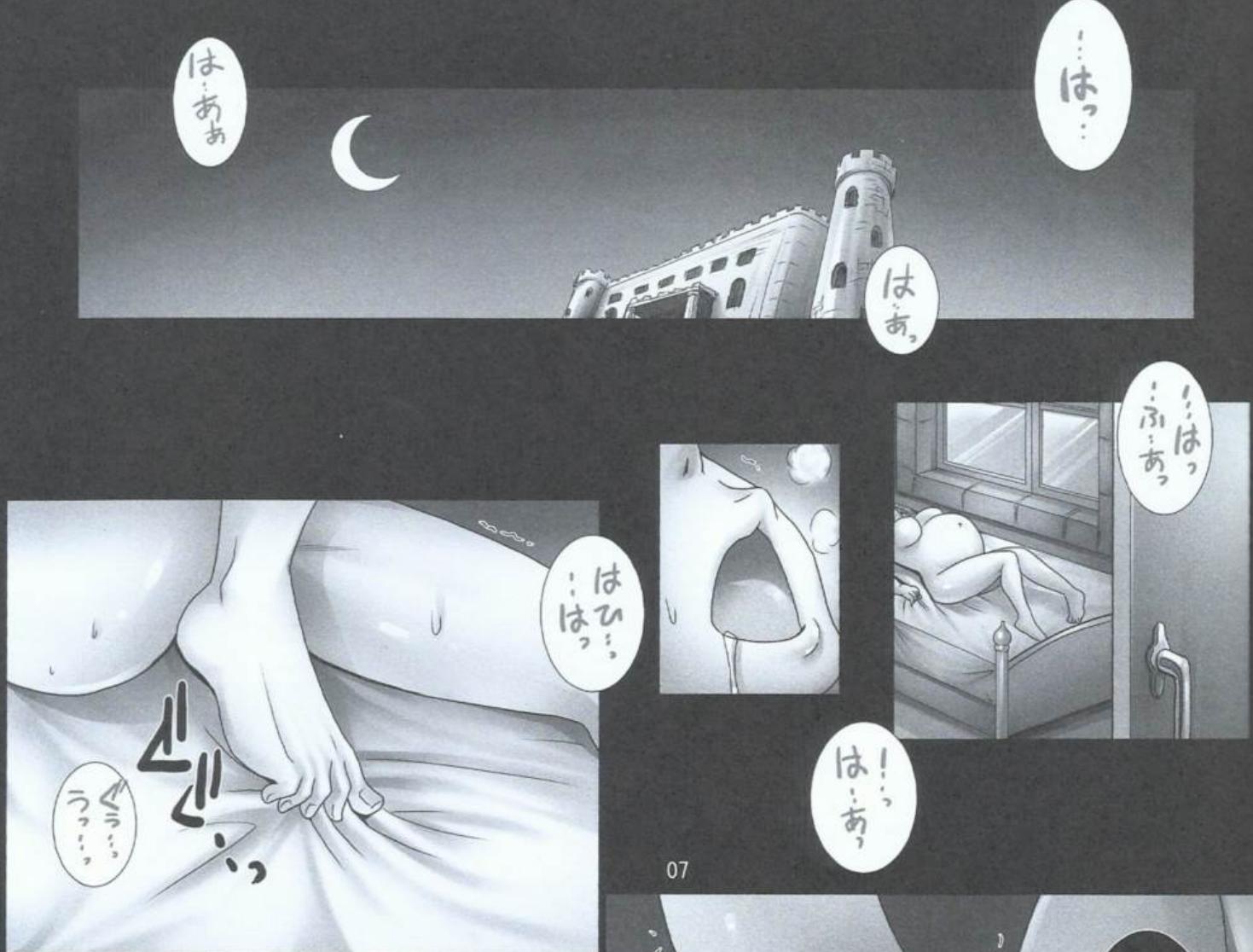
発行日:2013.08.11

発行:AbaloneSoft

<http://abalone-soft.sakura.ne.jp/>

印刷:サングループ様





くつ
この…つ

いい加減
に…つ

…出来…
る…わ…

ダイと…
約束…
したもの

私は…ホップを
助けに…いくつ
その為なら…
…あなたを…

ママにそれが
出来るの？

キソッ
へえ：
マホイニ？

僕を殺すの？
ヤンデイス
みたいに…





邪魔はしない
それなら
ここにいても
いいでしょ？



おやすみ

…

これが
魔穴…

なんて
禍々しい
気配…

この奥に
ポップ君は
居るのね…

御心配には
及びませんよ
姫様！

女の淫魔は倒し
残るは男淫魔のみ！
あんな奴、恐るる
に足らずです！

愛して
…ママ…



ポップが正気に
戻った時…
直接話がしたいの

私たちにした事で
自分を責めて
きつと苦しむから…
だから、明るい顔で
迎えてあげたい…

ポップが悪いなんて
誰も思っていないって
そして…また三人で
旅をしようつて…
そう…伝えたい

だから…
お願い…

わかつた

マ…
マアムさんつ
で…でも…
そのお腹じや

一緒に
行きましょ
マアム、メルル！

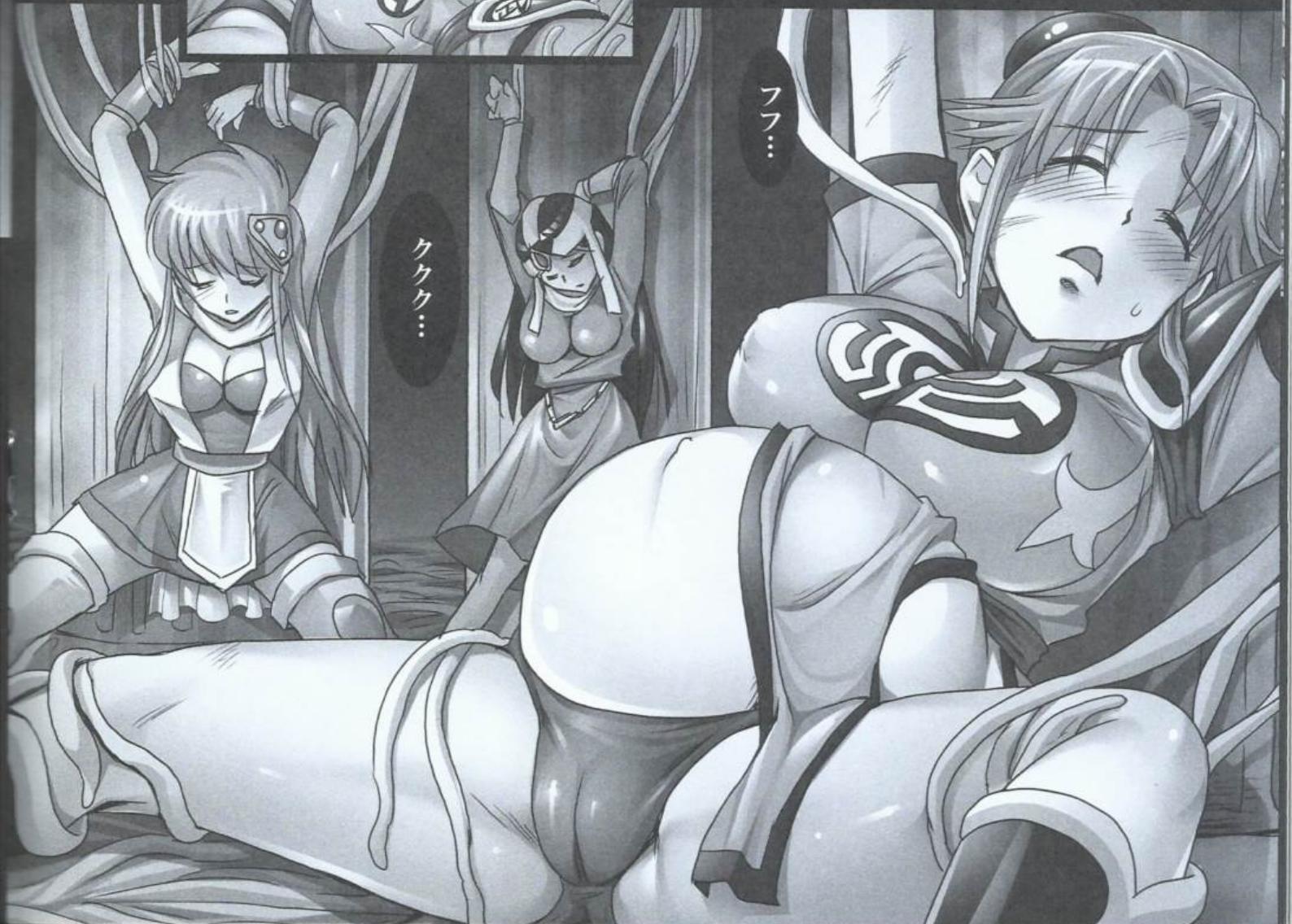
ひつ
姫？

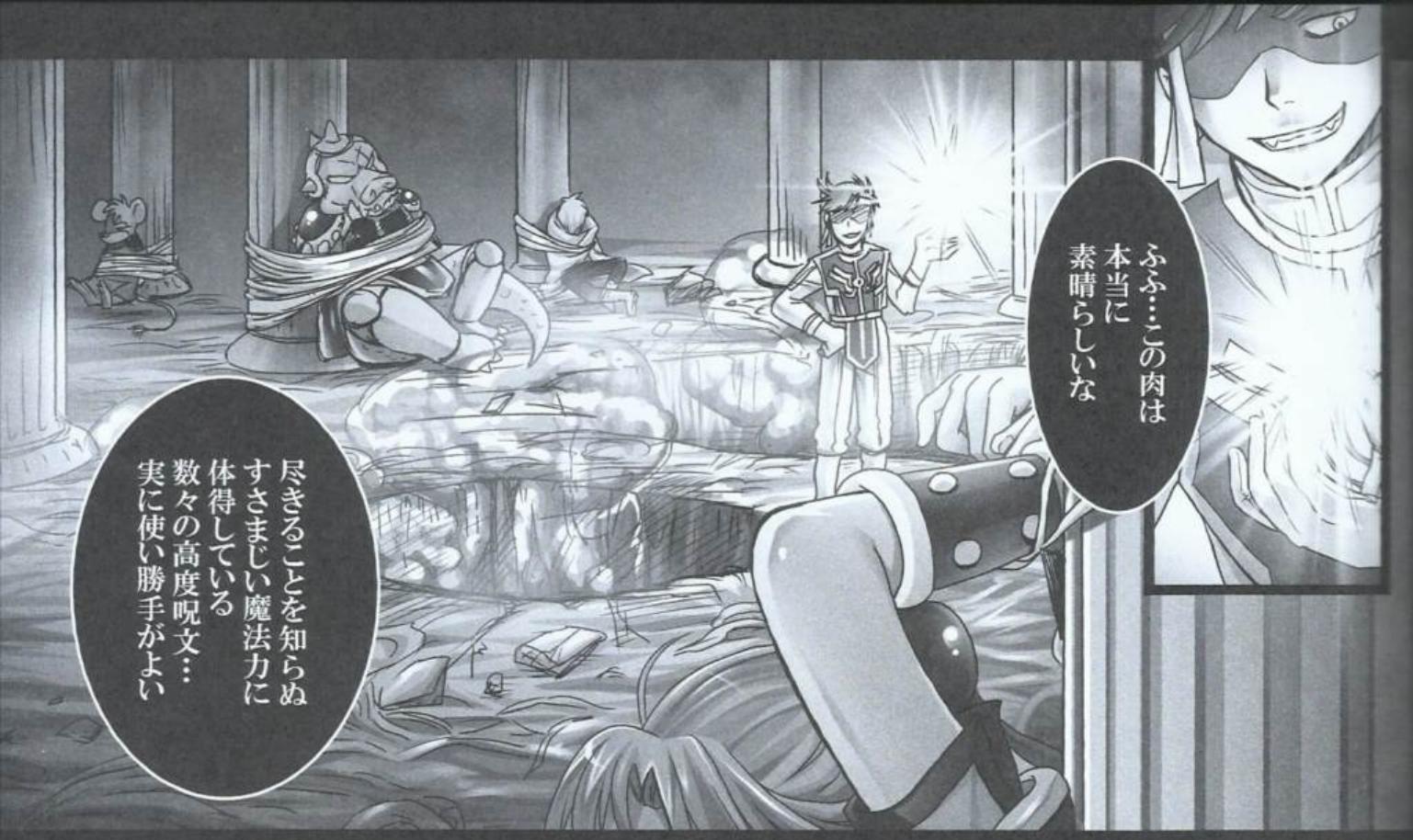
ポップ君も
きつと二人を
待っているわ

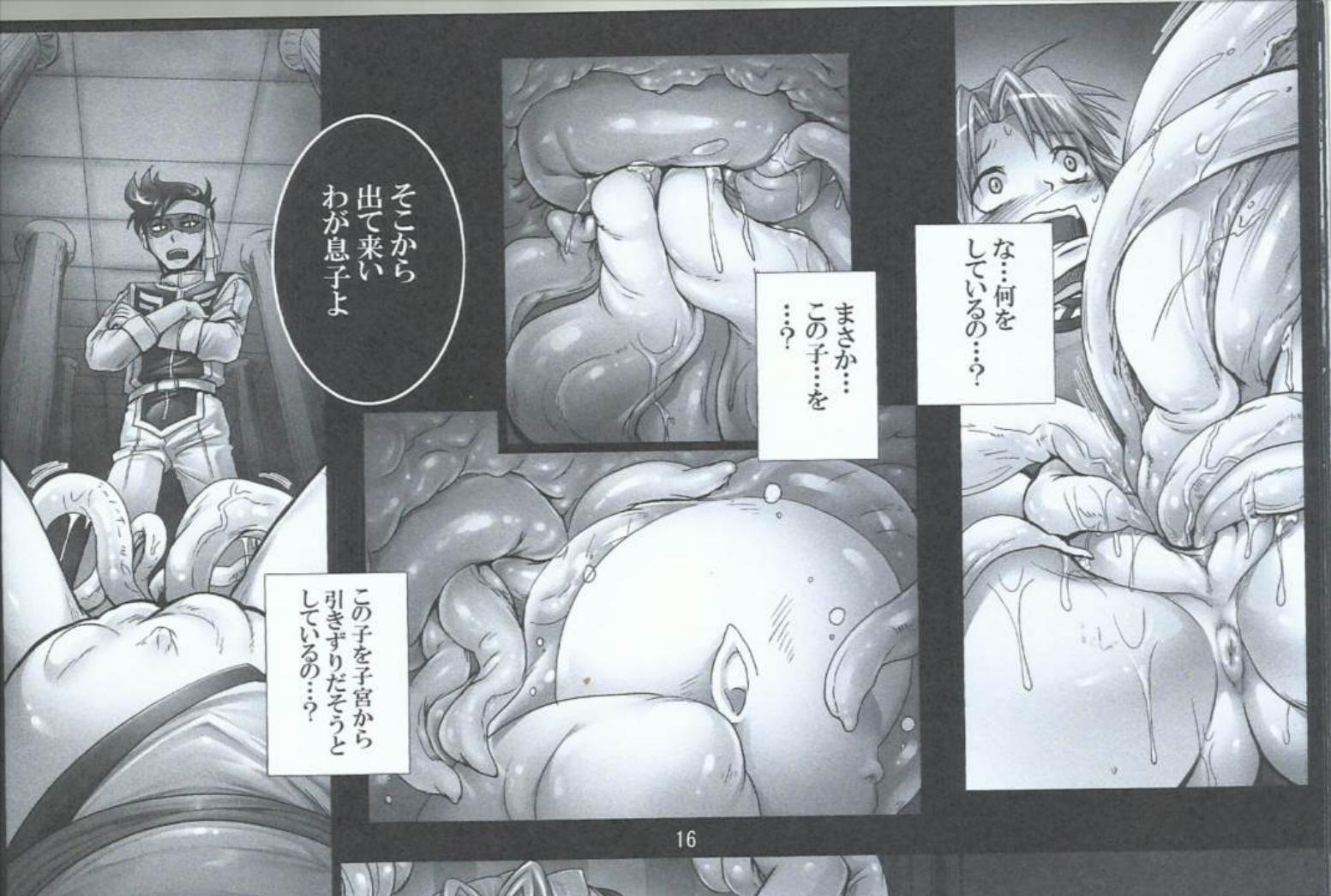


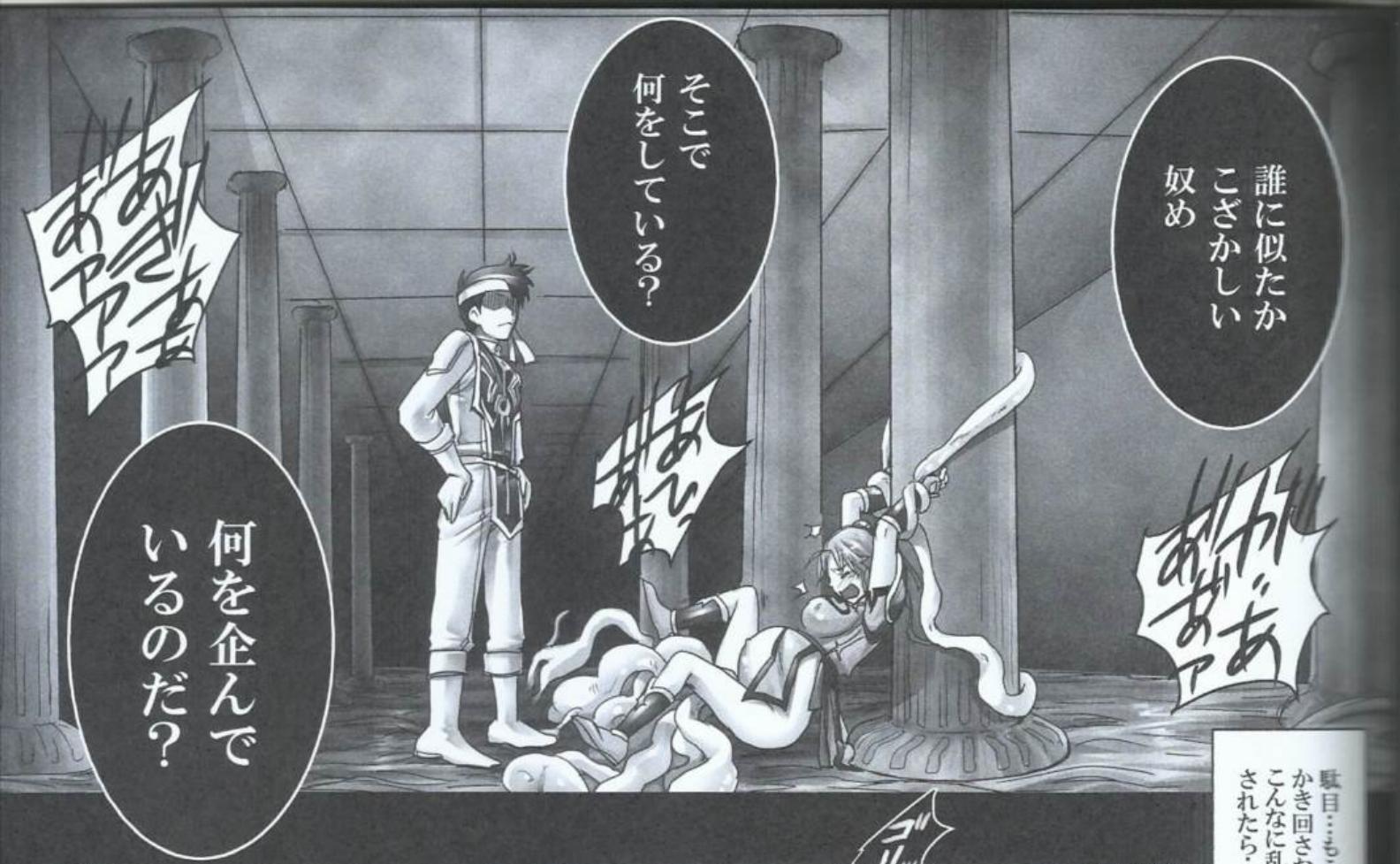


14









面妖だとは
思わんか?
何故お前が
そこまで必死に
そやつを庇う?

頭が真っ白に
なつて…

この子が
殺される
かも…って
考えただけで

そう…よ
うだわ
：私：
どうして…

その様子では
自らの身体の
変化にも
気付いて
おらぬか

愚かな女よ
魔児の力を
利用するつもりが
いいように操られて
いるとも気付かぬ

まあ、いい



この子を守る
守らなきや
いけない!!

:なぜ?
わからぬ
頭が痛い

何をしても
守るの!!

私：操られて
いるの？
：どうして：

す・るわ
何でも：

だから

だつて
この子は…

この子に
手をださないで

なぜ…
こんな…

フム…

やはり
正常な判断は
出来ぬようだ

淫魔を宿した
その身体で
淫魔のペニスに
接触すれば
どうなるか

いつものお前なら
察しがついた
だろうに

必死にむしゃぶり
つきおつて
まるで淫獣だな

だめ…
止まらない…
止められない…

身体が
いふことを
きかないつ！

ククク
一本では
足りぬだろう

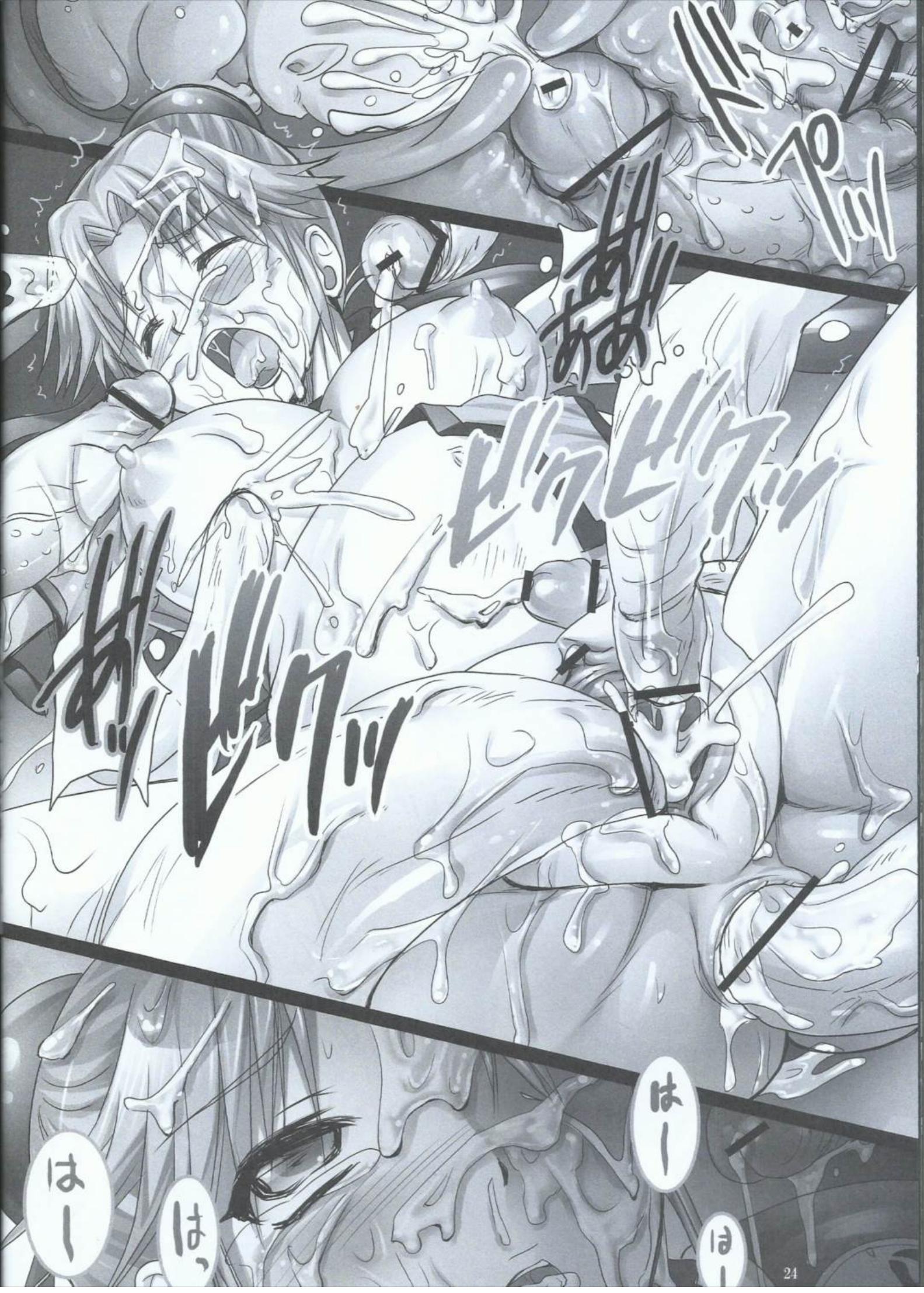
!?



イクの：つ
止まらない
子宮ほじられ
てるのに：つ

こんな約束が違うつ
止めなきや：つ
いけないのにつ

すごい：つ
もう：
もう何も
考えられないつ







26



To be Continued...

魔胎奇伝マアムVII

母性・懷疑・父子対峙

